

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ひとつ星・さかど			公表日	2026年 2月 20日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	3		トイレの数が少ないため、移転の検討を視野に入れる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	5		配置基準はクリアしているが、子どもの希望に添えるような配置が十分でないときがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	7		子どもの発達状況に合わせて、必要に応じてトイレ時の踏み台等を用意し、対応する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	2	建物自体は古いですが、掃除や消毒等は行き届いており、清潔にしている。	子どもたちの更衣室や庭が狭いため、移転の検討を視野に入れる。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	4	スペースの限界はあるが、パーティション等を活用して、工夫している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	2		毎月の会議等で話し合いをしているが、経過や結果周知の不足があるため、毎日のミーティングや日刊等を活用して、周知を行うようにする。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		法人内研修、外部研修に積極的に参加している。	
適	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		支援に関わる職員に意見を聞き、会議やミーティング等で個々のお子さんの発達状況に合わせて、日々検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	2		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3	日々の情報収集、整理に努めている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1	支援に関わる職員でアセスメントを行い、その上でご本人や保護者のニーズに合わせて、作成を行っている。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		外出の企画は子どもたちに人気であり、「また行きたい」「楽しかった」という声がよく聞く。今後も引き続き、子どもたちが楽しいと燃えるような内容を企画していく。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	1	子どもの状況に合わせて、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2	子どもたちの様子は、毎日のミーティングや日刊等で情報共有し、全員で確認するように努めている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	6	活動後に送迎等があり、全員が揃わないこともあり、翌日にいる職員で振り返り等を行うことがある。連絡票を活用している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	3	連絡票や児童の様子記録に残し、改善・検証につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		面談や電話、送迎時等でお話しし、見直しの必要性を判断し、適切に行うようにして	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7	2		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	5		医療との連携は出来ていないが、保護者中心に行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	3	契約時の面談で得た情報を共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1	まだ移行した者はいないが、準備等で情報提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10		聴覚障害のある団体との交流はあるが、一般の子どもたちの交流はほとんどない。社協主催の手話体験で聞こえる子どもとの交流することもある。	児童館について、利用するにあたり条件が厳しくなり、気軽に訪問することが難しくなっている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			毎日のミーティングや会議等で子どもの状況について、伝え合っている。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5		ご家族に対しての支援・参加できる研修の機会を設けられるよう日程調整が課題。
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	契約時、書面と共に説明を行っている。		

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	1	ご家族からの子育ての悩み等の相談があった場合は、適切に対応している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	6		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10		視覚的な情報を大切に配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	1	BCP研修の一環として、引き渡し訓練を実施した。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	1	契約時に必ず確認をしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	保護者からの情報提供で対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2		研修で得た内容を他職員への周知や共有が出来ていない。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	2		周知不足もあるため、周知出来るように努める。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		報告の仕方が職員によって異なるが、職員間で情報を共有し、対策も含め、検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			研修で得た内容を他職員への周知や共有が出来ていない。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	2	事例なし		